

2019年12月6日

京都 iCAP および JAMSTEC が (株) オーシャンアイズへの支援を決定

— 第三者割当増資とベンチャー認定 —

<< 概要 >>

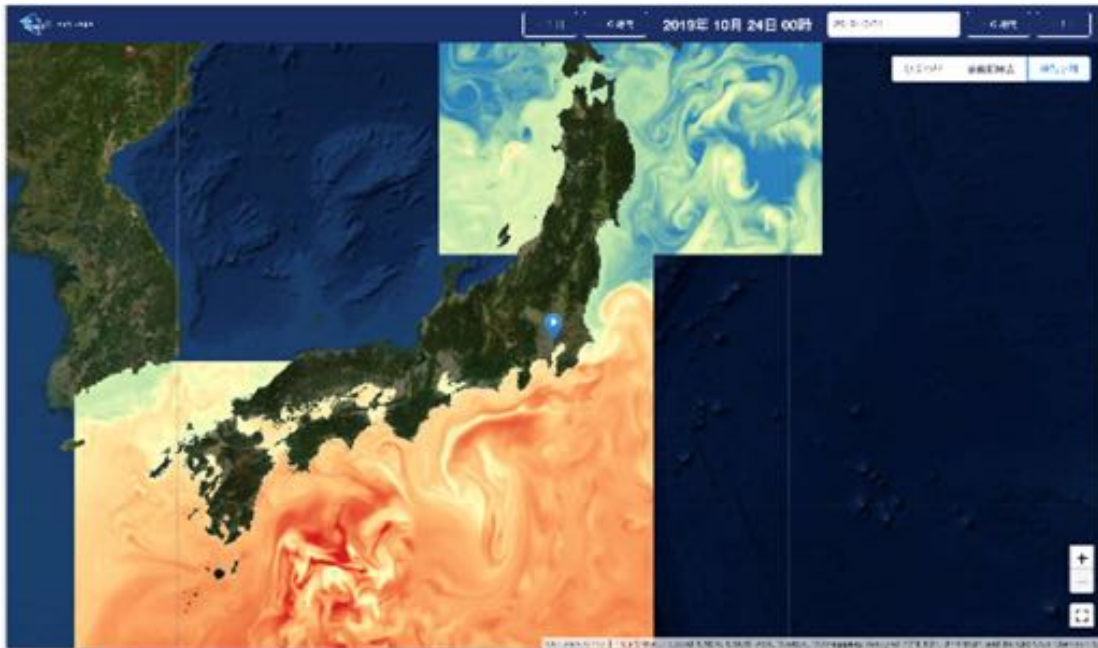
京都大学と海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の研究者が水産・海洋を事業ドメインとして設立した株式会社オーシャンアイズ (本社：京都市左京区、代表取締役：田中裕介) が、京都大学イノベーションキャピタル株式会社 (以下「京都 iCAP」) (本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司) および JAMSTEC より支援を受けることが決定しました。

京都 iCAP を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合は 11 月 29 日、オーシャンアイズに対し約 3000 万円の投資を実行しました。この投資は、オーシャンアイズにとって初めての外部からの資金調達となります。また、オーシャンアイズは JAMSTEC が保有する知的財産を活用しているため、JAMSTEC ベンチャーとしての認定を受けました。JAMSTEC ベンチャーはこれが 3 例目です。これらの支援を受け、オーシャンアイズはかねてより開発とユーザー検証を進めてきた水産事業者向けサービスである「漁場ナビ」を、12 月 6 日付で正式リリースします。

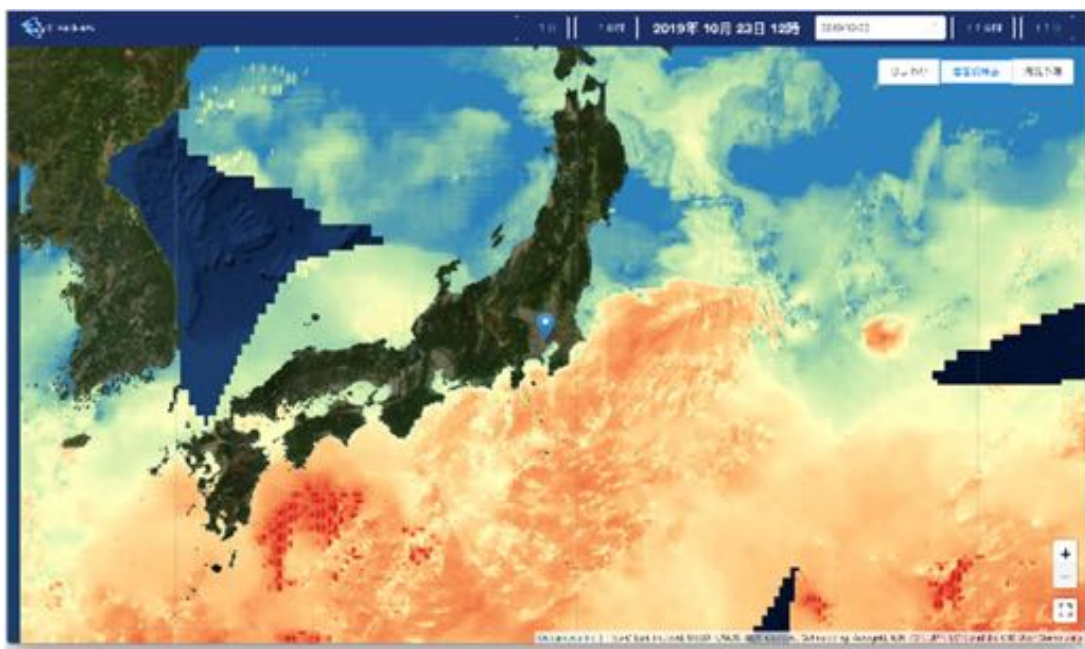
<< 漁場ナビについて >>

漁業者の日々の漁場決定には、表面海水温などの海況情報が重要な役割を果たしています。しかし、衛星が観測する海水温データは雲に隠されることも多く、必要とする頻度や精度で情報を利用することが難しいのが現状です。オーシャンアイズが今回正式にリリースする「漁場ナビ」は、独自に開発した雲除去技術や海況予測技術を用いて、表面海水温や潮流といった海況の予測情報を、パッケージとしてまとめて漁業者に提供するサービスです。標準サービスで月額 5 万円(税別)からの提供となります。タブレット端末にバンドルしてサービスを提供する形態が標準となりますが、要望に応じて PC での提供も可能です。標準サービスは、主に広域の海況情報を必要とする沖合・遠洋漁業者による利用を想定しています。近海から沿岸にかけて操業するより小規模な沿岸漁業者向けには、表示するデータや海域を絞って、利用しやすい価格で提供するライトメニューを検討しています。

「漁場ナビ」では、一般財団法人リモートセンシングデータセンター (RESTEC) から提供された我が国の気象観測衛星「ひまわり」の海表面温度データから、深層学習技術によって雲に覆われた部分を除去して、リアルタイムにユーザーに提供します。RESTEC が提供する衛星データの商業サービスでの利用は「漁場ナビ」が初めての事例となります。



海水温予測画面（開発中の画面です）



雲除去画面（開発中の画面です）

<< オーシャンアイズの由来 >>

「オーシャンアイズ」という名前は、衛星や船舶に搭載されたセンサーデータと、人工知能・海洋物理学系技術という“技術の眼”で海洋を観ることで、これまで分からなかった海洋の様

子を明らかにし、持続可能な漁業・海洋産業の発展に役立てたいというオーシャンアイズのビジョンを表しています。例えば、水産業で死活的に重要な漁場の決定は、これまでベテラン漁師の勘や経験に頼ってきましたが、オーシャンアイズの漁場推定技術を用いることによって、漁師の高齢化問題に対処するとともに、次の世代へ確実に技能を継承できるようになります。また、養殖の現場では急激な海水温変化や赤潮による養殖魚への被害や、急潮による養殖設備の被害が問題になっていますが、オーシャンアイズの海況予測技術により、そうした被害を減らすことができます。

<< 設立経緯 >>

オーシャンアイズの設立メンバーは、海洋数値モデルやデータ同化技術を用いることで、海水温や流向・流速といった海況を高い精度で予測する技術や、地球観測衛星が観測した海水温データと操業データを元に、深層学習とパターン解析を用いて漁場を推定する技術などの FishTech を約 10 年にわたって開発してきました。これらの技術は、実験ベースで漁業者や水産試験場、養殖場で利用された実績があり、漁業関係者から高い評価を受けています。

漁業法改正により、日本でも管理漁業が導入されつつある現在、漁業者は制限された漁獲量の下、操業コストを下げ、単価を向上させることで利益を出す必要に迫られます。オーシャンアイズは、これまで開発してきた FishTech を元に、こうした問題へのソリューションを提供し、“漁業者にも地球にも持続可能な漁業”を実現するために設立されました。

<< JAMSTEC ベンチャー制度について >>

JAMSTEC ベンチャー制度は 2006 年 4 月に制定された制度です。認定とともに、申請に基づく各種支援内容（実施許諾における優遇措置、研究施設等の利用における優遇措置等）によりベンチャーの事業活動を一定期間支援します。（株）オーシャンアイズは本制度の 3 番目の認定企業となります。

<< これまでの資金調達について >>

オーシャンアイズの創業メンバーは、これまで JST-CREST の研究資金*、京都大学の起業支援資金（京大インキュベーションプログラム）の支援を受けて、研究開発と事業化を進めてきました。

*科学技術振興機構(JST) 戦略的創造研究推進事業 CREST「イノベーション創発に資する人工知能基盤技術の創出と統合化(研究総括：栄藤 稔)」研究領域における研究課題「FishTech によるサステナブル漁業モデルの創出(課題番号：JPMJCR19F1, 研究代表者：飯山 将晃)」および前身の研究課題「サステイナブル漁業に向けたデータ指向型リアルタイム解析基盤の開発(課題番号：JPMJCR1681, 研究代表者：飯山 将晃)」

<< 株式会社オーシャンアイズ 会社概要 >>

■会社名	株式会社オーシャンアイズ (Ocean Eyes Ltd.)
■設立日	2019年4月1日
■資本金	2,348.5万円
■代表者	代表取締役 田中 裕介
■所在地	京都市左京区吉田本町 36番地1 京都大学ベンチャー インキュベーションセンター内
■事業内容	水産海洋産業・政府自治体向け情報サービスの開発と販売
■株主	経営陣, 共同研究メンバー
■経営陣	代表取締役 田中裕介 (JAMSTEC) 取締役 笠原秀一 (京都大学) 取締役 石川洋一 (JAMSTEC) 監査役 蒲地政文 (JAMSTEC)

<< 連絡先 >>

<株式会社オーシャンアイズに関するお問い合わせ>

笠原秀一 (かさほら・ひでかず)

株式会社オーシャンアイズ 取締役・京都大学学術情報メディアセンター 特定講師

電話：075-753-9060 (京都大学飯山研究室)

メール：info@ocean-eyes.jp

公式 Web：https://ocean-eyes.jp